

ライフスキル研究所だより VOL.30

2008年9月8日発行 発行者：特定非営利活動法人 ライフスキル研究所
会員数 正会員30名・賛助会員2名 〒563-0017 大阪府池田市伏尾台1丁目32-17
TEL 072-750-2797 FAX 072-750-2805
E-mail info@lifskill-npo.org URL <http://lifskill-npo.org/>



描画から子どもの心のサインをキャッチする！7/30

何か新しいこと始められそうな秋です

「描画から子どもの心のサインをキャッチする！」を終えました

理事長 小村チエ子

当研究所の主張を織り込んだ広く社会へ向けた事業の開催はほぼ2年に一度開催しています。今回も事務局一同は、社会的内容を持ち活動を通して主張したいことを中心にテーマを絞り込み企画に当たりました。今回の講演&ワークショップ「描画から子どもの心のサインをキャッチする！」のテーマは、描画から子どもの心の悩みや不安を読み解くという呼びかけであり、参加者の共感の如何を心配しましたが、京阪神の幼・小・中学校へリーフレットをお送りするやいなや反響があり多くの先生方からお申し込みを頂戴することができました。

事業の成果としては、おもに幼・保・小学校の先生方など教育関係者、また福祉関係者、医療関係者、子育て中の保護者、学生など、多分野から第1部80名、第2部58名、延べ138名の参加をいただき、盛況のうちに終了することができました。

参加者のアンケートからは、絵には子どもの気持ちが表現されていること、絵を通して子どもとの対話がより深まり子どもへの理解につながることに気づいていただくことができ、今後子どもとのかかわりの中にその視点を加えていきたいという肯定的な意見を多く頂戴しました。また、実際のワークショップにより聞き方にもポイントがあり、また、分かっているもうまくできないことや、聞き方により子どもの感じ方が違うことなどにも気づいていただけたようです。

子どもとのコミュニケーションの取り方の一つとしてアート表現が有効であり、そのことを多くの子どもに関係する人々が求めているという手ごたえを感じ、これからも表現を通して人間性を育む活動に取り組んでまいります。

会員の皆様からの熱意と応援が、全てのライフスキルの活動に反映されるようますます精進してまいります。よろしく願い致します。

～理事のひとこと～ part 4

理事 山下 晶子

私は20年ほど前から地域で食育活動をしている栄養士です。活動を始めたころは、「食育」という言葉が一般的ではなく、活動している私たちでさえ知りませんでした。そのため「地域で栄養士が何をしているの？」と質問されても説明が難しく、「幼稚園や保育所に行って食べ物のゲームをしたり、地域の会館で調理実習会をしたり...」と具体的な活動を並べて説明していました。今は一言で「食育活動をしている」といえば、多くの方が理解してくれます。それだけ、「食育」が浸透しているようにも思いますが、果たして本当の意味を理解しているか、一過性のブームに終わってしまわないか、少し不安に思っています。

健康ブームから食への関心は高まり、さまざまな健康情報やグルメ情報がテレビや雑誌などで報じられています。また食品の産地や製造日などの表示偽装やギョーザ事件、牛肉のBSEなど食品の安全性への関心も高くなっています。一方、スーパーや百貨店の総菜コーナーは拡張され、コンビニの数も増え、24時間営業の飲食店も増えていきます。情報に惑わされ、便利さや嗜好だけで食を選ぶ。「食べること」の本来の意味から逸脱しているのでは、と感じるのです。

小学校の食育授業で、朝食を食べてきたかどうか尋ねると、1クラスに数名の生徒が毎朝食べていないと答えます。保育所でも日常的に朝食を食べずに来る子どもが年々増えてきているそうです。理由は、食べる時間がないのと親が食べないからだそうです。本来食べることは、生きていくためです。それがあまりに安易に受け止められているように思います。

以前、糖尿病の講習会の最後に「基本的な食習慣から話していかないといけないくらい今の食生活は乱れ切っている」と話された大学教授がいました。ストレス社会と言われる。食生活の乱れと関係がないとは言い切れないと思います。人間の生き方に深く関わるライフスキルの取り組みの一環として、「食」からの提案も積極的に行いたいと思います。



子どもべや伏尾台教室

9月の教室	ピカソコース：9月 色々な海を描いてイメージ力を高めます。
5日・12日・19日	10月 お月見や運動会のシーズン、体験を表現できるかな？
10月の教室	ダヴィンチコース：9月 海から環境を考えます。
3日・17日・24日	10月 未来を思考しながら描きます。 *ご連絡させて頂いたとおり今月よりお月謝を改定させていただきました。 お月謝：5,000円 中学生は1回1,800円です。よろしくお願ひします。

第21回会員交流会ご報告 (8/2 10:00~12:30 池田NPOセンターさつき 参加者6名) 会員 二口圭子

1. ライフスキル講演会 (7月30日西宮) について反省

来場された方に学校関係者が多かったが、今までの研修会ではワークショップ形式のものは少なく、アンケートからも好評だった。

講演については、絵の事例を示すことでわかりやすくなるが、最近プライバシー保護の観点から、子どもの絵の扱いも慎重にしないとイケない。ライフスキルでは必ず保護者の確認をいただいている。

キャラクターばかり描く子どもに対してどう話しかければよいか、質問がでた。

どんな気持ちで描いているかを、子どもに聞いていくことからその子の世界をつかめばよいとアドバイスがあった。

2. 導入とは、いかなるものか? について話し合う。

カウンセリングをしている観点からは、「安心感を保障すること」ここで自由に話したことは、決してもれることはない、とまず伝えることから始まると思う。

絵画指導からは、イメージを自分で紡ぎだすための雰囲気作りではないか。

そこに漂う空気感、リラックスできる感じをどう作り出すかが大事だ。

いろいろ具体的な事例もでて、話し合ったが、まとめとして小村理事長からは、導入とは、今日することを伝える「しかけ」である。また、成長への欲求を引き出す「動機づけの声かけ」である。今日これからすることには、意味があると納得させる時間だとまとめられた。

3. その他：それぞれの近況など

ことばについて、再度学びが必要ではないか、特に大人が発する言葉について。例えば、カウンセリングでは「なぜ、どうして」類の言葉を言わない。詰問されているように、被験者が感じてしまうのを避けるためである。

導入の話にもでたが、子どもに入る言葉かけができていくか? 言葉の困難さをお互いに克服する研修も必要では、との意見もでる。

本の紹介 (次の2冊が紹介されました) みなさんも読んでみては?

- ・ 「婚活」時代 (ディスカバー携書) 山田 昌弘 白河 桃子 (新書)
- ・ ほんとはこわい「やさしさ社会」(ちくまプリマー新書) 森 真一

第2回会員研修会(コラージュ)ご報告 (8/24 13:00~16:30 池田共生サロン 参加者10名) 会員 中嶋ちさ

7月からスタートした会員研修会はコラージュの勉強会です。5回シリーズで全回出席という条件でスタートしたこの研修会ですが、諸事情あり2回目からの参加もお許し頂き、結果私も含め1回目より4名増しの10名となりました。コラージュも描画と同じようにそのときの気分や状態が非常によく現れるもので、私自身もその時に考えていた「幸せってなんだ?」という事を何となく表現していました。研修会では10名それぞれが自分のコラージュに対するコメントをした後、参加者が私にはこんな風に見えるわなど意見を述べ、さらに洞察を深めています。

ライフスキル研究所の講座・ワークショップ案内

アートでスカット! 心の健康サポート 2008

3~5歳児のためのアート教室 (対象:未就園児) 募集中
7/31(終了)・9/11・10/23・11/13・12/11(いずれも木) 10:00~11:00
池田コミュニティセンター予定 参加費は無料。

指導者:新保美恵子(アートスペース子どもべや講師)他

大人のためのアートカウンセリング

7/26・8/9・9/20・10/11・11/8・12/13・1/10(土) 10:00~12:00
各日2名(1人50分)*お一人3回までとさせていただきます。
(それ以降ご希望の方は有料となります。)

アートセラピーセミナー

日時:10/18・25(土) 13:00~16:00
内容:アートセラピーの治療の実例とアートセラピー体験。アートセラピーに興味を持ち始めた方にピッタリです。
場所:池田駅周辺予定
費用:12,000円
講師:小村チエ子

会員限定の交流会ごあんない

第22回 会員交流会 2008年12月6日(土) 10:00~12:30 いけだNPOセンター さつき 会費500円

事務局より

夏休みが終わりもう2学期。子どもべやにも子どもたちの賑やかな声が帰ってきます。夏休みに実施したアートでスカット! 子どものアート教室はキャンセル待ちをお願いしたり、お断りをするほどの大盛況でした。7/30の「描画から心のサインをキャッチする」もあり、事務局としては嬉しい悲鳴をあげる夏でした^0^ (CN)